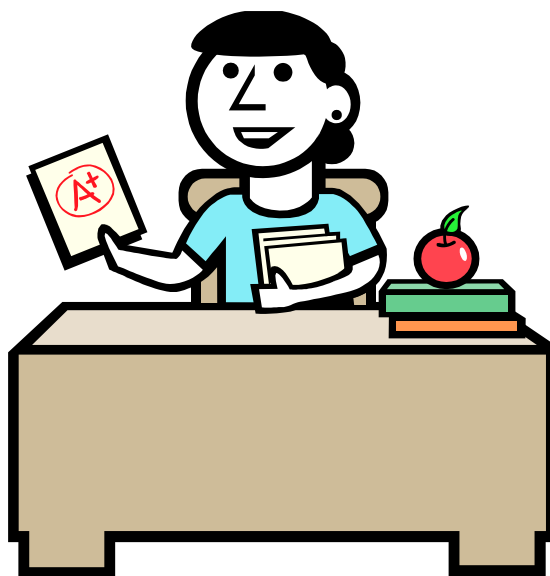


2012 年度 経済学部ゼミ紹介



日時:2012 年6月6日(水)

場所:甲友会館大ホール

時間:10:40～

ゼミ紹介の際はこの冊子をお持ち下さい。

藤本ゼミ

私はずいぶん長くゼミを開講しているけれど、常に大切にしているモットーは、テーマは何であれ、学生一人一人が自ら興味をもってゼミに参加するということである。現代社会に興味をもって眺めると、これほどエキサイティングな時代はない。東日本大震災以後の日本の経済と政治、IT時代を引っ張ってきたアメリカの苦悩、EUのユーロの混乱、石油で世界市場を席卷する中東の政治的混乱、中国のバブルの行方と来る政治指導者の交代、北朝鮮など。

これほどたくさんの、誰もが正解を知らない難問に取り巻かれているのが現代であり、そしてそれを解決するために欠くことのできない情報はふんだんに提供されていて、しかもその情報は増え続けている。

学生時代こそさまざまな難問にチャレンジできる唯一のチャンスである。この機会を逃すと二度とめぐってこない。時代に取り残されないためにも、興味をもってゼミに参加してほしい。

今年の藤本ゼミのテーマは「動揺する世界経済」である。日々の新聞や雑誌を読みながら今世界経済がどこに向かっているのかを一緒に考えていきたい。

Messages from 岩崎ゼミ

**就職後は、身近な問題を自力で解くことが要求される。
常識のある社会人として通用する人物になろう。**

**このゼミでは、「産業と企業の経済学」の分野で、その
トレーニングをしよう。**

- 1. 産業と企業の経済学はあなたの身の回りの問題を
扱う。Watch out carefully around you, and find
problems and solutions for them.**
- 2. ゼミでは“遠慮は不要”。ゼミは修行の場、練習の
場・・・黙っていても意味がない。学んで“これを習
う”、また楽しからずや。**
- 3. 米国の一流ビジネス・スクールでは、多様な経験をもつ候補者を入学させる。なぜ？ それは仲間たちの知識や経験を共有できるから。ゼミでは、教えあおう。上級生との合同クラスもいいな！**
- 4. もう岩崎からは学ぶものがない！と思ったら、このゼミは卒業。**

2012年度青木ゼミ I の紹介

入学から数えて1年と2ヶ月が経過しました。だけど、人生の新たな目標を探しあぐねている人も多いのではないのでしょうか？あるいは、現時点では将来について何も考えていないのかもしれませんが。しかし、このままズルズルいくと、あっという間に大学生活が終わってしまいます。アルバイトばかりでは何も身につけませんし、それでは2年後にやってくる就活において何もアピールするものがありません。ゼミはそうならないための一つのチャンス。自分をあらためて鍛え直す機会と考えて下さい。

この青木ゼミでは、これまでなかなかピンとこなかった経済の動きを、「自分の頭や手足を動かして勉強する」ことからスタートします。具体的には、インターネット、エクセル、ワード、パワーポイントなどの基本ソフトの使い方から始まり、様々のデータを使って必要最小限のICTスキルを修得します。間違ったイメージを持ってもらっては困りますが、青木ゼミはパソコン・ゼミではありません。社会に入って必ず必要となる最低限のスキルを修得することに主眼があります。その第一歩がICTスキルの修得です。しかし、あくまでこれも手段にすぎず、最終目標はもっと別のところにあります。そのために、同時にプレゼンテーション能力を磨いていきます。その後、調査・研究をグループ単位で行い、成果を人前で話してみましよう。いかに自分でテーマを設定し、自ら考え、その考えを人に伝えることが難しいかがやがて分かってきます。このプロセスを繰り返すことによって、皆さんが社会へ旅立ち自立していける力の源を創ることがゼミの基本目的です。

しかし、残念ながら、現時点ではみなさんは指示待ち学生、お客様学生の状態にあると言わざるをえません。自分でどう動いてよいか分からないし、またその力もないからです。そこで2年生ゼミでは、まず材料を教員サイドから提供し、決められた枠組みの中で基本的なスキルの向上を狙います。3年次になると自分たちでテーマを出し合い、その中から協同研究テーマを選択、調査・研究する作業となります。この作業を通じて「大学時代をどう過ごし、何を得たか」という問いかけ（就活で絶対に必要となる問いかけです）にきちんと答えられるようにすることが目標です。受身の勉強はもうやめましよう。”stand for yourself”が合言葉です。元気で意欲あふれる学生の参加を希望します。

小林 均 ゼミ

《教員より》

本ゼミナールは 1998 年度 1 期生に始まり、国内研究のため 2006, 2007 年度、ゼミ募集せず、2008 年度から募集を再開しました。「政府活動の理論的・制度的分析」を基本テーマとし、さらに「21 世紀日本における公・私の役割分担」を発展テーマとします。社会保障(年金・医療・税金)を経済学の立場から研究し、21 世紀を作り上げ・維持する『学問』を目指すつもりです。社会保障の持続可能性と税制は、日本の現在・将来にとって解決すべき重要な課題です。21 世紀の日本の経済社会は、高齢化、グローバル化という大きな潮流の中を、冷静に舵取りをし、生き続けなければなりません。この状況に対して、いかなる制度的・政策的対応が求められているかを考えることは大変重要であるとともにエキサイティングなことです。

大学一年生の時に読んだ経済学の入門書で、経済学を学ぶものにとって必要な姿勢は「Cool Head but Warm Heart」という、イギリスの経済学者マーシャルの言葉を知り、大変感銘した事を今でも忘れません。学生諸君がマーシャルの精神で、物事に対処する事ができるようになれば、本ゼミの目的はほぼ達成されたといって良いでしょう。それには、与えられた課題、そして自己が見つけ出した課題について調べ、考え、そしてそれを人前で発表し、言いたいことを簡潔に伝えるという行為が不可欠です。大学生時代は自由であり、何でも吸収でき、しかし短い。この貴重な期間をいかに過ごすかが、その後の『豊かさ』を決めます。

《ゼミ幹事より》

小林ゼミでは社会保障という大きなテーマについて一年間を通して深く掘り下げていきます。とはいっても自分たちで調べたりするには情報が膨大すぎるので、基本は一冊の本をもとに進めていきます。

大体、4~5 人程度で1つの班をつくり全部で5つの班にわかれて週代わりで発表していきます。毎週、発表というわけではなくさらにチームで分けられるので1人1人に割り当てられる量はそれほど苦しいものではありません。

発表の PowerPoint にはゼミの時間の際に加筆修正してくださり、課題提出の Word には添削してくださるので論文や将来のプレゼンにも役立ちます！

また、前期、後期を通じてゼミコンパというものも実施します。今年度は飲み会だけでなく、ボーリング大会を企画しています。金銭面に関しては先生が補助してくださるので、気楽にゼミのメンバーと純粋に和を深めることができます。

こういったゼミですが、たくさんあるゼミの中、決まっている人はもちろん、迷ってる人や検討中の人も是非小林ゼミへ！

小山ゼミのご紹介

ゼミ生から

小山ゼミは主に「環境と経済」について研究・発表・討論するゼミです。「環境と経済」と聞くととっつきにくいイメージがあるかと思いますが、そんなに複雑な事はしません。むしろ、テーマはほぼ自由なので、自分が本当に興味のある物事について取り組む事が出来ます。

一見経済とは関係なさそうな事でも突き詰めていくと、必ず経済に関係しています。小山ゼミではいきなり経済学から入るのではなく、こういった自分が関心のある事柄から経済に馴染んでいけるのが特徴です。

もし経済学に興味がない、もしくはよく分からないという人は、まずこの小山ゼミで、興味のある事柄から経済の世界に足を踏み入れてみてはどうでしょうか？

きっとあなたが経済に対して抱いていたカタさやとっつきにくさがなくなると思います。

担当教員から

ゼミに所属すると、就職活動のときに「自分は大学のゼミで、こうしたテーマで研究しています」とアピールできます。しかし、より重要なのは、自分が大学卒業後ずっと（無意識に）使っていくことになる物事に対する見方、判断の仕方、あるいは問題解決型思考法といったものを、ゼミの活動を通じて確立しておくことだと、私は考えます。

小山ゼミでは、ゼミ生一人ひとりが必要な情報を効率的に収集し、それらに基づいて論理的に思考・判断する能力・スキルを向上させることを目標として、さまざまな機会を設けています。

自らの能力・スキルをアップさせたいという強いモチベーションを有し、かつそれを維持し続けられる学生が、小山ゼミに応募してくれることを期待しています。

✎✎ 岡田ゼミ ✎✎

書を読み、街を歩き、人と出会い、神戸の歩みをじっくりと学ぼう。そうすれば、この大都市の進むべき道がおのずと見えてくるはず。(ゼミ教員より)



2011年度インゼミ 岡田ゼミ発表イラスト

😊😊 現役ゼミ生からのメッセージ 😊😊

私達岡田ゼミは神戸の経済や歴史について研究するゼミです。

神戸は平清盛や坂本龍馬など歴史的に重要な人物と関わりがある街でもあります。

他に大輪田の泊・灘の酒・神戸港など例をあげるときりがありません。岡田ゼミではデスクワークだけでなく、フィールドワークなどを行い神戸の魅力を探求していきます。みなさんもゼミの仲間と共に神戸の良さを見つけてみませんか？

高 ぜ み

【高先生から】

ゼミは、教員が学生に一方通行で行う講義とは大きく異なる。教員と学生たちが自由な意見交換をし、ともに学ぶ場であり、ともに「楽しいゼミ」を作っていく場といえる。

高ゼミでは、アジアと日本のエレクトロニクス企業について勉強する。2年後期では、基本的な資料を学び、その後にゼミ生の希望を聞いていくつかのチームで課題を決め、調べていく。今年は、携帯電話産業における、ノキア、サムスン、パナソニック、ソニー、シャープなどの競争関係を調べている。テストはない。インゼミには参加したい。4年の最後に卒論（卒業レポート）を書く。

好奇心旺盛で、アジアと日本企業に関心がある学生の参加を望みます。

【高ゼミの学生から】

2011年の高ゼミでは、2012年5月20日の経済学部60周年行事での発表の準備をしてきました。「神戸ブランドを生かした海外展開やレストラン展開」というテーマで、神戸に本社があるロックフィールドに訪問見学もしてプレゼンを準備しています。私たちのプレゼンに先生が補足説明などをしてくれるので、とても理解が深まります。

先生も気さくな方で、男子10人と女子10人でいつも和気あいあいと話ができる楽しいゼミです。

ゼミ見学などに参加したらわかると思いますが、高ゼミに入ってきて後悔することはないと思います。

えひろ 永廣ゼミ

永廣から…

ゼミとは、単位取得のためにあるのではなく、ゼミ生同士、ゼミ生と教員が、学問はもちろん、学問以外についても自由に議論し、全員で勉強する＝生き方を学ぶ「場」であるといえる。

私のゼミでは、転換期にある日本財政の諸問題について、理論、歴史、制度、政策それぞれに目配りしながら、多角的、総合的に検討していく。ここ数年は、税制、社会保障、少子化対策を取り上げている。ゼミ生には、些細なことであっても、論点、疑問点等を積極的に提起し、自由に議論してもらいたい。また、こうしたゼミでの議論を通じて、自分自身の考えを論理的に整理する方法を身につけてもらいたい。

ゼミ生同士、ゼミ生と私が、何でも自由に話し合える雰囲気をつくるため、ゼミの運営方法については、ゼミ生からの意見も踏まえながら色々工夫したい。研究室への来訪は大歓迎、課外活動（ゼミコン、社会見学、合宿などのイベント）も数多く実施したい。ゼミ生には、ゼミ室での勉強、課外活動において、大いに個性を発揮してもらいたい。

ゼミでは、知識はもちろん、礼儀作法等の社会性も身につけてもらいたい。ゼミ活動を通じて、ゼミ生同士、ゼミ生と私との間に確固たる信頼関係を築き上げ、実りの多いゼミにしていきたい。

ゼミ生から…

☆永廣ゼミは主に財政について勉強しています。例えば、年金制度や世代間格差の問題は、皆さんにとって身近な話題ですよ。こういったテーマの本を輪読という報告・質問・司会・コメントの班に分かれて運営し最後に先生から質問の答えの補足などをしてもらうという形で学んでいます。普通に本を読むよりずっと知識が深まると思うし、人前で話す練習にもなると思います。そしてゼミのもう一つの特徴として、社会見学を年に数回行っています。普段行けないような工場や会社などに見学に行きます。昨年は日本銀行や兵庫県庁に行きました。おそらくこれは、他のゼミではなかなかないと思います。ゼミコンも定期的に行われ、楽しいです。一度ゼミの見学に来てください。是非永廣ゼミで、有意義な時間を！！

☆永廣ゼミは、遊ぶときは遊び、勉強するときは勉強するといったメリハリのあるゼミです。普段は、主に財政についていろいろ勉強をしています。財政についての本を読んで質疑応答をしていく、輪読というのをやっています。今の日本の現状がわかり、とても勉強になります。他には、ゼミコン（食事会）や社会見学があり、とても盛り上がります。ゼミコンでは、自分たちで場所や日時を決め、楽しくわいわいやっています。社会見学は、様々な所へ行き、貴重な体験をします。こんな和気藹々とした永廣ゼミに是非入って、更に楽しい大学生活を送りましょう。

☆私たち永廣ゼミは、ゼミの活動として、輪読を通してゼミのテーマである現代の財政の諸問題と社会保障について学んでいます。また、三回生の12月に行われるインゼミに向けてゼミ合宿なども行い日々励んでいます。他にも、社会見学として企業訪問も行い、なかなか経験できない貴重な体験ができることも魅力の一つです。また、ゼミコンなども積極的にいき、オン・オフの切り替えがしっかりできる、メリハリのきいたゼミです。是非永廣ゼミで充実したゼミ活動を行いましょう。

☆①永廣ゼミはとても楽しいゼミです。主な内容は班ごとに輪読を行うことですが、それ以外にも社会見学に行ったりします。またゼミのみんなでゼミコンをしたりもして、永廣ゼミ生はみんな仲がいいです！

②永廣ゼミは他のゼミに比べると忙しいゼミかもだけど、厳しくも優しく授業が進んでいくメリハリのある良いゼミだと思います！

③永廣ゼミは普段の発表を通して勉強になることがたくさんあるし、飲み会とかは先生も参加するのでオン・オフがしっかりしているととても楽しいゼミです。みなさんは是非永廣ゼミに！！

④私たち永廣ゼミは基本的にはゼミ生主体でゼミを進めていき、最後に先生からゼミに対しての感想やアドバイスを聞くという形でやっています。主に輪読をします。初めは難しいと感じますが、やり甲斐はすごくあると思います。輪読以外にも社会見学やゼミコンなどの行事もあり、絶対に楽しめるはずですよ！！先生もとても優しい方できっと安心してゼミに取り組めます。この説明を見て興味があれば是非とも自分の目で確かめて来て下さい。

⑤社会見学やゼミコンなどのイベントが豊富で、雰囲気の良いゼミですよ！是非見学に来て下さい。以上を参考に、みなさん永廣ゼミの見学に一度来てみてください。

奥田ゼミナール

[担当者から] こんな時代だから古典を読もう



《文明社会では、人間はいつも多くの人たちの協力と援助を必要としているのに、全生涯をつうじてわずか数人の友情をかちえるのがやっとなのである。》(『国富論』第1編第2章)

わたくしにとって、大学時代のゼミナールは、まさにそうした貴重な「友情」の苗床でした。みなさんにとっても、そうであることを希望します。

ところで、アダム・スミスは上の文章に続けて言います。他人の善意はあてにできない。それよりも相手の利己心に働きかけるほうがよい。《われわれが自分たちの食事をとるのは、肉屋や酒屋やパン屋の博愛心によるのではなく、かれら自身の利害にたいするかれらの関心による。われわれが呼びかけるのは、かれらの博愛的な感情にたいしてではなくて、かれらの自愛心にたいしてであり、われわれがかれらに語るのはわれわれ自身の必要についてではなく、かれらの利益についてである。》

経済学的人間観の宣言としてあまりにも有名な箇所ですが、しかし、わたくしには《一身にして二生を経た》(『福翁自伝』)のような溜息が聞こえてくるような気がしてなりません。二つの引用文をゆっくりと読み比べてみてください。

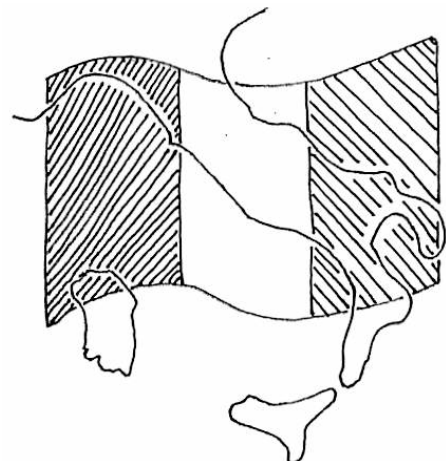
「産業革命」と「市民革命」によって社会の成り立ちが大きく変わろうとしている時代のただなかで、新しい学問のありかたを求めたのがスミスです。『国富論(諸国民の富)』を手がかりにして、経済学の初心を探りたいと思います。

[受講生から] なにかを真剣に突き詰めた人にはオススメ

「奥田ゼミナール」受講適性診断

- ・書物を愛している (はい/いいえ)
- ・感受性が豊かである (Yes/No)
- ・知的好奇心が旺盛である (Ja/Nein)
- ・社会科が全般的に好きである (Oui/Non)
- ・論理的・多面的に物事を把握できる (Si/No)

5つすべて当てはまる人は「奥田ゼミナール」へ



ゼミで学ぶことー自立して生きるために

平凡な人間でも生きていくと、さまざまなステージで難問にぶつかる。どうすれば就活で「内定」をもらえるのか、今のカレシと結婚すべきか、なぜ営業成績が上がらないのか、転職になったが家族を連れて行くか、不登校の息子にどう向き合うか、どうしたら部下がやる気を出すのか、親の介護をどうしたらいいか…。人生に正答集はない。悩みを話せる友人がいても、結局、自分の頭で考えて解決しなければならない。

難問を解くためのツールは、「論理的な思考力」一すなわち、必要な情報を集めて理解し、筋道を立てて考える力である。この能力を活かしてはじめて、家庭や職場、地域で出会う問題に対して解決策を得ることが可能になる。ここ一番で頼りになるのは、がまんと思考力である。

ゼミの大きな目的は、「論理的な思考力」を身に付けることである。そのために、前半では私の用意した材料を使って、一人ひとりに下記のスキルを習得していただく。これ以外にも「コミュニケーション能力」（これって何？）などを学ぶべきだろうが、そもそも足腰の弱い個人から強いチームは生まれない。「0」はいくつ足しても0である。

- ① 書く力…話の構成のない文章はだれも読んでくれない。簡潔・明快な文章を書くためのチェック項目を整理する（20個ある！）。
- ② 聴く力…話の流れとキーワードをサッとメモする。その日のうちにノートに整理して、本質的なポイントは何かと考える。
- ③ 読む力…本を読まない人は複雑な思考ができない。論理のくさを追う力を養う。要所要所で話の内容を自分の言葉で言い直す。と同時に、美しい文章に触れながら、読書の面白さを伝えたい。
- ④ 話す力…プレゼンテーションで大切なものはサービス精神である。それをどう発揮すればいいのか。5つのチェック項目を心がけて練習を繰り返す。
- ⑤ 調べる力…「血液型から性格が分かる」などという実証的根拠のない説を鵜呑みにしてはいけない。適切な統計を探して、自分の主張を確かめる。証拠を示しながら話すのが“科学”であり、証拠を示さずに話すのは“宗教”だ。

上記の力について、テクニックを明確にして指導する。限られた注意事項に気を配って練習することで、論理的に考える力が鍛えられる。それらをマスター（マネ）した後で、自分のスタイルを確立すればいい。日々の学習において、何も意識せず漫然と課題をこなしても進歩はない。大学生になったのに「分かりやすい文章が書けない」、「人前で上手く話せない」ことを恥ずかしいと感じる人には有益だと思う。

ゼミの後半では、インゼミ大会での発表を準備する。そこでチームワークの働き方と研究のしかたを知るだろう。「0」から「1」に成長した個人がグループになり、「1」+「1」を3に変えるためには何が大事なのかを学びたい。他人に言われたことだけをして、チームの一員にはなれない。自分に何が求められているか、そこで自分をどう活かすのか、意見が合わないとき真っ当な判断は何か、どうすれば全員のモチベーションが上がるのかなど、グループが「チーム」に変わる条件について一緒に考えよう。

（文：上島）

◎担当員からのコメント

「みしらぬことばでみたことのある場所を歩いてもつまらない。だれもがしていることばでだれもしらないところを歩きたい。」

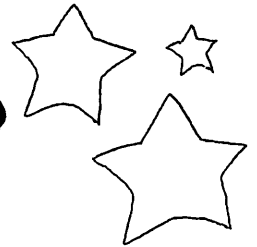
僕の好きな詩人、長谷部奈美江の言葉です。

市野ゼミでしたいのは、まさにこれです。

私たちの身の回りに、私たちのなかに、「だれもしらないところ」はたくさんあります。でいねいに考える。どんなことも当たり前と思わない。あり得ないと言わない。そうすれば、私たちは「だれもがしていることば」だけで、ずいぶん遠くまで行けます。

みなさんと一緒に「だれもしらないところ」を歩くことを楽しみにしています。

市野ゼミ



◎ゼミ生のコメント

ほんまに勉強頑張ってる(笑)
でも、こんなに勉強してるのに楽しい♡
矢口識が身につく!
人前で話すことに慣れられる!

市野ゼミ 10期生 ☺

個性豊かか 仲良し ☆
頑張る人ばかりだから ☆
自分も頑張れる!
ON/OFF が しっかりしてる!

学生を引き込む話術をもって
楽しい内容をくだけた言葉で楽しくおもしろく
授業してくれる! アメとムチを使い分け(笑)
見て癒される♡
笑顔がスキ♡

市野先生
LOVE♡

HAPPY ♪



林ゼミ 10期生募集コミュニティ(管理人:khayashi)



khayashi :

林ゼミのメインテーマは、「デジタル社会をどう生きるか」です。時代の先端に行く新しい物好きの人、ゲーム等のデジタルコンテンツに興味がある人、卒業した後も SNS でつながっていたい人などにはオススメできるゼミだと思っています。

👍 あなたと他38人がいいよね！と言っています。

zemisei1 アップルやソニーなど、情報通信産業の今を学べます。新しいものが好きな人にはとってもおすすめ！

zemisei2 あまり知らなかった通信に少しずつ興味を持つことが出来ました！

zemisei3 日常生活で「知ってるわこんなん」って思っていることが、実はどんな仕組みで成り立っているかなど、多くを学ぶ事が出来ました。

zemisei4 普通に生活していても関わりの深い分野なので自分のためになると思いました。

コメント



khayashi :

林ゼミのサブテーマは、「卒業後の人生について考えよう」です。デジタルなものと同じくらい、アナログな人間関係も大切にしたいと思える人は、入ゼミを検討してみてください。ゼミ見学は随時OK、ゼミ相談会は、6月13日(水)の昼休みに5406室で開催します。

👍 あなたと他31人がいいよね！と言っています。

zemisei5 toto BIGで6億円当たったら、あなたは働きますか？ そんな事も考えます。

zemisei6 分かりにくい内容を分かりやすくまとめ、相手に伝える力がついたと思います。

zemisei1 先生の留学経験から外国のことも学べます。

zemisei7 人生変わります。もっと早く出会いたかった、そう思える先生です。

コメント



khayashi :

ゼミ10期生募集を機に、今年から来年にかけてのどこかで、林ゼミ10周年記念のOB会設立パーティを開催しようと考えています。出来るだけ多くの方にお集まりいただければ幸いです。現役生の皆様にも、ご協力をいただくとありますが、よろしくお願ひします。

👍 あなたと他18人がいいよね！と言っています。

zemisei8 林ゼミとても好きです。

コメント

森ゼミナール

担当：森 剛志

ゼミのテーマは「家計の立場からみる行動経済」です。

このゼミでは与えられた課題のテキストの内容を読んで、何が書かれてあったか、その中でも頭に残ったこと、考えたこと、感じたこと、疑問に思ったことをゼミ生みんなで話し合います。

ゼミの進め方としては、どのようにその日のゼミを進めていくかを二人組になって考え、レジュメを作成し、司会進行をして、実際にみんなに考えてもらい、話し合います。


また、グループに分かれて、一つテーマを決め、そのことについて調べて発表するプレゼンテーションも行います。発表をお互いに聞きあい、どこが良かったか、どこが悪かったのかを評価し合い、次のプレゼンテーションにつなげていきます。ゼミの先輩達のプレゼンテーションを聞く機会もあり、自分達のプレゼンテーションの参考にすることができます。

自分達の仮説があっているのかを確かめるためにアンケートをとったり、教室を飛び出し、学外で実験・調査を行ったりもします。机に向かって本を読むことだけが勉強ではありません。自分の目で見てはじめてわかることもあります。

他にも、コンピュータを使用して図や表を作るといった作業も行います。コンピュータが苦手だという人もいますが、毎回わかりやすい資料と丁寧な解説があるので安心です。

このように、森ゼミは、毎回のゼミをゼミ生みんなで作り上げていく「ゼミ生の、ゼミ生による、ゼミ生のためのゼミ」です。

ゼミを通して読書力、文章力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、グループワーク力、情報機器能力などのたくさんの力を自然と身につけていくことができます。



去年は三年生も採用しました。
迷っている人、
質問がある人は
ゼミ見学、相談会に
ぜひ来てください♪

環境経済学 柘植ゼミ



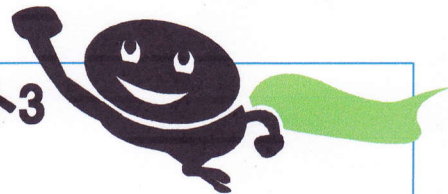
この方が噂?の柘植隆宏先生です。優しそうですね? おそらく2回生のみなさんは知らないと思います。なぜって?

今、先生はアメリカへ留学に行っているからです(僕達ゼミ生を見捨てて…笑)

そんな先生ですが、頭が良くて、優しく、頼りになって、自由にさせてくれる、本当に良い先生です♪

お酒を飲むとすぐに赤くなる、ちょっとカワイイ所があるのも先生の魅力です。

柘植ゼミの良い所ベスト3



- ①先生がとにかく良い。
- ②上下の繋がりが有る。(ゼミの先輩後輩)
- ③環境経済学に限らず、自分達の好きなことを自由に研究出来る。
- ④ONとOFFの差がはっきりしている。
- ⑤研究の中で、自由にフィールドワークに行ける。

などなど

今まで先輩に本当にお世話になりました。上の立場になった今、僕達も、後輩の為なら何でもしてあげたい!!少しでも力になってあげたい!!という気持ちでいっぱいです。待ってま〜す(^-^)



※応募するには、A4サイズで1枚程度の研究計画書の提出が必須です。心配しなくても大丈夫です。(詳しい内容はHPに記載予定)
先生が留学に行っていたこともあり、現在、3回生のゼミ生がいません。よって、ゼミ質問会は今のところ行わない予定です。何か聞きたい事などがあれば、遠慮せず下記のアドレスまでメールしてきてください。急遽質問会を行うようになれば、HPでお知らせするので、チェックをお願いします。

アドレス⇒se931153@center.konan-u.ac.jp

メール大募集!(^^)!

HP⇒<http://sites.google.com/site/takahirotsuge/seminar>

2012年度 第3期 石川ゼミの紹介

私の研究のキーワードは **都市 地域** です。

ゼミでは、学外での **フィールドワーク** や役所等での **ヒアリング調査** などを通じて、身近なところにある問題を明らかにしたうえで、その問題に対して有効かつ効果的な政策提言を行っていきます。

この大きなテーマに沿って、ゼミでは、

- ① 論理的な考え方を学ぶ
- ② 文章力を高める
- ③ プレゼンテーション力を高める
- ④ コミュニケーション力を高める
- ⑤ ディベート力を高める

ことを目標として進めていきます。

ゼミでは **グループワーク** が中心となります。ゼミ生同士でコミュニケーションを深め、困ったときにはお互い助け合えるような信頼関係を築いてもらいたいと思っています。なお、ゼミの時間外にゼミの作業をしなければならない時もたくさんあります。そういう意味でも、積極的にゼミ活動に参加する学生さんを応募します！

石川ゼミは、私を含め、ホント元気です(*´▽`)/「元気で楽しく学びたい」、「アクティブに行動したい」と思っている人はぜひ来てください☆ゼミでできる友だちは、普段の友だちとはまた違ってホント魅力的ですよ♪第3期のゼミでも、私をガンガン引っ張ってくれるような、積極的に楽しいゼミを作ってもらえれば嬉しいです！！

平井ゼミ

本ゼミでは、19世紀後半から20世紀前半のアジア、とりわけ東アジア経済の歴史的展開について学習するとともに、旧日本植民地を取り上げ、当該社会がどのように再編されたのかについて、日本経済やアジア経済の状況と関連させながら議論することを目的としている。

近年のアジア経済の発展は目覚ましく、日本経済にとって、アジアは欧米と同等かそれ以上に重要な地域となっているが、同時に、その多くが依然として貧困の問題を抱えているという二面性を有している。また、アジアの中でも経済発展を遂げた地域がとりわけ東アジアに集中していることは、旧植民地の社会経済の展開に対する日本の「開発と侵略」の内実を正しく理解する必要性を示している。歴史を学ぶ目的は、単に人類がこれまで経験してきたことを覚えることにあるのではなく、多様な社会・経済・政治制度を持つ地域の比較や関係を考察することで、自らが現在置かれている環境を相対化する視点を養うと共に、現在の環境が選択されていることの意味を考えることにある。極めて多様で複雑な環境・歴史を有する地域で構成されるアジアを学ぶことは、その大きな助けとなるだろう。ゼミでの学習を通じて、現在のアジアを取り巻く様々な問題を考える際の引き出しを増やしてほしい。

本ゼミは本年度から開講されるため「ゼミⅠ」のみが設置されている。「ゼミⅠ」では、より専門的な知識を学ぶ「ゼミⅡ」、自ら知識を生産して卒業論文としてまとめる「ゼミⅢ」の前段階として、経済史に関する基礎的な知識・考え方を得ることを目的にする。ゼミのより具体的な内容については、経済学部から配布されるゼミ受講要領を参照すること。